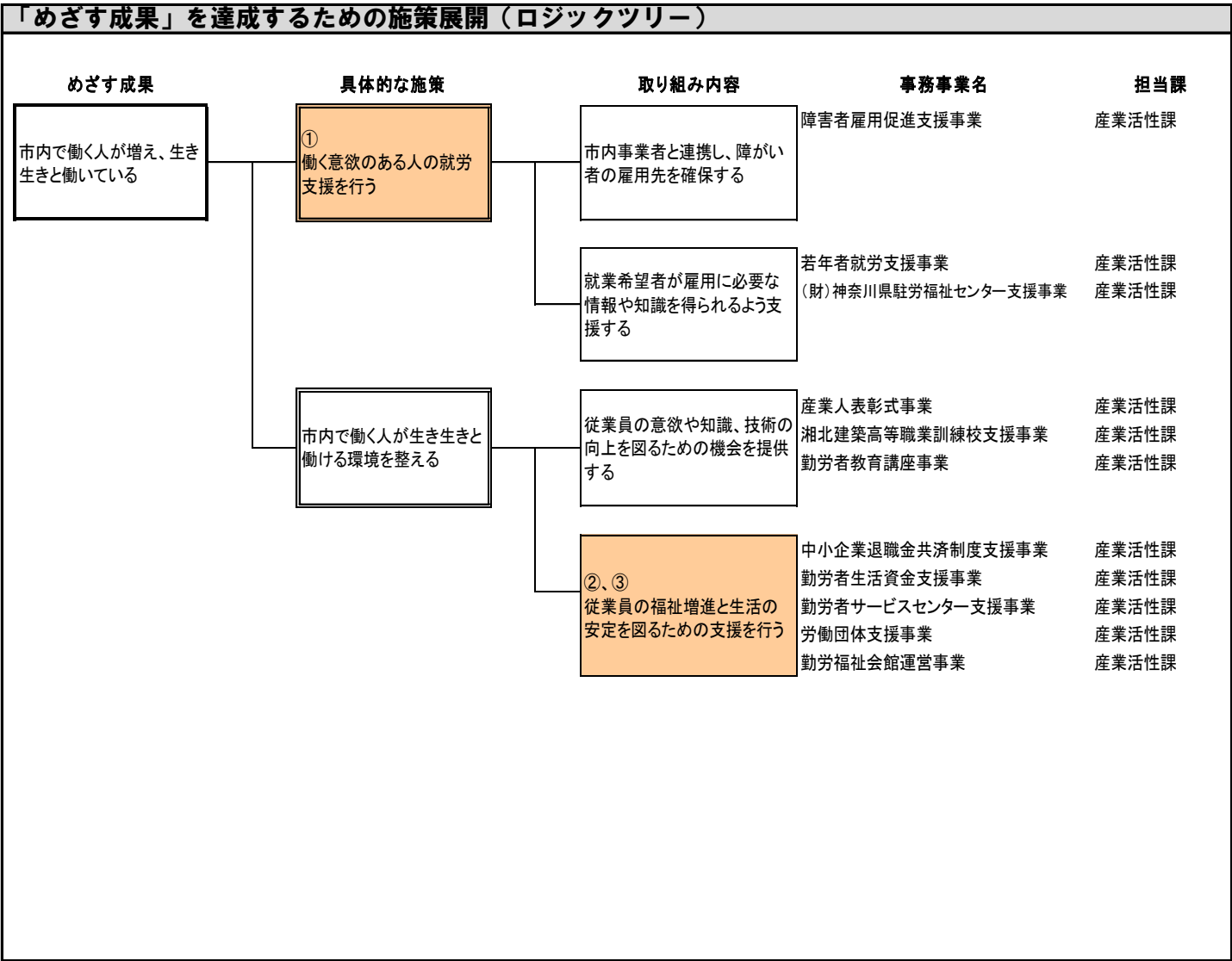


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-2-2 市内で働く人が増え、生き生きと働いている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	市内で働く人が増え、生き生きと働いている 市内での求人が増え、働く意欲のある人に就業の機会が提供されています。また、市内の職場で働く人の就労環境が、安全で快適な状態に保たれています。



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
市内事業所従業者数		勤労者サービスセンターの加入者数		勤労者サービスセンターの加入事業所数	
計画策定時 現状値	81,414人	計画策定時 現状値	3,957人	計画策定時 現状値	890社
実績値 (H22)		実績値 (H22)	3,982人	実績値 (H22)	914社
中間目標値 (H23)	81,500人	中間目標値 (H23)	4,300人	中間目標値 (H23)	960社
目標値 (H25)	81,500人	目標値 (H25)	4,500人	目標値 (H25)	1,000社

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【働く意欲のある人の就労支援を行う】 ・毎月1回ヤングキャリアカウンセリングを実施し、若年者の仕事に関する個別の相談に応じました。8月には未就労若年者を対象に体験型セミナーを開催して、パソコン研修のほか応募書類の書き方や模擬面接を実施するとともに、IT関連企業の人事担当者との交流の場を設けました。 ・障害者の雇用安定を図るため、障害者を雇用した市内中小企業に対して、障害者雇用促進補助金を交付しました。 【市内で働く人が生き生きと働ける環境を整える】 ・市内中小企業に働く勤労者の福利厚生を図るために、大和市勤労者サービスセンターの運営費の一部を補助しました。 また加入促進を図るため、大企業の勤労者も加入できるように制度改正を行った(財)両毛地区勤労者福祉共済会(足利市と佐野市で設立)への視察を当該サービスセンターと共に実施し、研究を行いました。 ・市内中小企業の従業員の福祉向上と雇用安定を図るために、従業員のために中小企業退職金共済制度に加入している事業所に対して共済掛金の一部を補助しました。

構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・厳しい雇用状況にあることから、ハローワーク大和と連携を図るとともに、若年者の就労を支援するために引き続きヤングキャリアカウンセリングを実施し、体験型セミナーの開催にあたってはより就職に結びつくような運営を心掛けます。 ・市内で働く人が生き生きと働ける環境を整えるために、中小企業退職金共済制度や勤労者生活資金貸付制度などの充実を図ります。特に、大和市勤労者サービスセンターについては加入促進と経営安定を図る必要があるため、加入要件の見直しを行っていきます。
-----------------------------	--

今後の展開方針		注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充	・ハローワーク大和と連携して、新たに就職活動中の人を対象に「就職活動支援セミナー」を開催します。また体験型セミナーの人事担当者との交流会にもハローワーク大和職員の参加を求めています。	(該当する事務事業) 若年者就労支援事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し	・大和市勤労者サービスセンターの会員を増加し経営安定を図るために、会員の加入要件の見直しを進めます。	(該当する事務事業) 勤労者サービスセンター支援事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	・若年者や障がい者の雇用促進に対する施策は実施されていますが、女性や中高年など様々な人々を対象とした雇用施策については現時点で十分ではないと思われます。総合的な雇用施策については、市の関与の必要性も含めた今後の方向の検討が求められます。